



みんなの ホームステイの思い出



ホームステイ 5日目

大垣市立日新小学校 6年 志知 真帆

この日、私はホストファミリーと一緒に動物園（メルボルン動物園）に行きました。



1人でずっと一緒にいるのは不安だったけど、純菜さんと優里さんも一緒にちょっと安心しました。動物園には、日本では、あまり見られない動物がたくさんいました。カンガルーや、コアラ、ウォンバッドという動物も見ました。動物園の中に水族館があり、そこでペンギンを見ることができました。そして、驚いたのは、ちょうちょうがいっぱい飛んでいる展示室のような場所があることです。ナンシーのお母さんの帽子の上にちょうちょうが2匹もとまりました！また、爬虫類（へびやワニ、かめ）だけの展示コーナーもありました。

どちらも日本にはないので、やはり、日本とは違うなあと文化の違いを改めて実感しました。

ウォンバッドの赤ちゃん↓



この日一番嬉しかったのは、ウォンバッドの赤ちゃんを見ることができたことです。ナンシーと、ナンシーのお母さんは、「ウォンバッドの赤ちゃんが見られるなんてとてもラッキーね！」と言っていました。ウォンバッドの赤ちゃんは、ウサギみたいでとても可愛かったです。

この一日は、私の見たかったオーストラリアの有名な動物を自分の目で見る事ができ、とてもうれしかったし、同時に、日本と違うことを感じられたのでよかったです。



←お世話になった、ホストファミリーのみなさん
ホームステイでは、ホストファミリーの方がとても優しく接してくれたのでうれしかったです。英語にふれるととてもいい体験ができました。

楽しかったホームステイ

大垣市立中川小学校 6年 中島 明日香

私のホストファミリーになってくれたスティンプソン家は、いつも笑顔であたたかい家族でした。私のフレンドになってくれたのは、アナベルでした。アナベルはやさしくて笑顔が可愛い女の子でした。

スティンプソン家はお父さん、お母さん、アナベル、お姉さんの4人家族でした。

家は平屋で、1部屋が大きく、裏庭がとても広がったです。アナベルとお姉さんはベントレー中学・高等学校に通っていました。そして、2人とも日本語を話せていました。

土曜日にアナベルとお父さんとお母さんと私で水族館に行きました。水族館では、ペンギン、ワニなどがたくさんいました。私が驚いたのは、水族館に虫や陸で生きている動物がたくさんいたことです。



その後にビーチに

行きました。ビーチハウスがたくさん並んでいました。そして、海の水が透き通っていて中の様子が見えました。水がとてもきれいでした。

夜には、アントクリフ家と一緒にバーベキューをしました。日本とは違いハンバーグや、パイナップルなどを焼いていました。とてもおいしかったです。

日曜日はアントクリフ家とスティンプソン家で動物園へ行きました。動物園にはコアラやカンガルー、ウォンバットなどのオーストラリアの動物がいました。コアラは、私が思っていたより動きが活発でした。私は、コアラがこんなに活発に動いているのを始めてみたので心に残りました。カンガルーなども日本とは違って、柵がなく自由に行動していました。ウォンバットの赤ちゃんも見ることができました。とても楽しかったです。今まで経験したことのない、英語ばかりの2日間でしたが、たくさんの人と英語で会話ことができました。また、日本では見たことのない生き物にたくさんふれあうことができました。

このホームステイは私にとってとてもよい経験になりました。これからも、よい経験としてずっと私の心に残ると思います。



心に残った、ホームステイ

大垣市立静里小学校 6年 廣瀬 朱音

研修1日目は、ずっと移動ばかりでした。バスに乗り、飛行機に乗り、大変でした。でも、少しずつオーストラリアに近づいていると思うと、ワクワク、ドキドキしました。2日目は、歓迎レセプションがあり、ホストファミリーの方たちと初めて会い、一緒に軽食を食べた後、ホームステイ先に行きました。

ホームステイ先の家と家の裏庭の写真↓



5日目、わたしのホームステイ先の家族と一緒にビーチに行きました。



←ビーチの写真



ビーチで走り回る犬

↓



6日目、わたしのホームステイ先の家族と、明日香ちゃんのホームステイ先の家族と一緒に動物園に行きました。いろいろな動物を見ることができました。なかでも、1番心に残った動物は、コアラです。なぜ、コアラかというと、オーストラリアでは有名で、ふだんあまり動いているところをみたことがないわたしにとって、動いているコアラをみることはめずらしかったので、心に残りました。

動いているか、わからないコアラの写真



とっても、思い出に残ったホームステイでした。

←ホームステイ先の家族の写真

ホームステイでの生活

大垣市立綾里小学校 6年 村田 純菜

ホストファミリーは、初めて会った時に、とても優しく歓迎してくれました。朝食はお父さんが作ってくれました。夕飯は、お父さんとお母さんが作ってくれました。食事は慣れない味で、日本の食事のほうが種類も多いし、最初は私の口には合いませんでした。家では、炊飯器はなく、ごはんが出ず肉料理のほうが多くでした。最初は口に合わなかったけれど、だんだん美味しいと感じるようになりました。同い年の子がいたけれど、一度も宿題をしている姿を見ませんでした。宿題は出ないのかなと疑問に思いました。事前研修でシャワーは、“短く”と聞いていましたが、みんなゆっくり使っていました。オーストラリアでは、水が基調だからです。私のホストファミリーは、日本語を勉強していました。私が教えた日本語の単語を組み合わせで作っていた文章が「私は魚のバスで買い物に行きます。」でした。なぜ、魚のバスなのか聞いてみたら、最近の日本の授業で魚という言葉を知ったから使ってみたかったからだそうです。カタカナで自分の名前を書きました。でも書き順がむちゃくちゃで面白かったです。私は、ほとんど英語が通じましたがたまに英語が間違っているときがありました。その時は正しい言葉に直してくれました。楽しい毎日を過ごせました。機会があったらもう一度会いたいです。

私が一番心に残ったことは8月23日に動物園へ行ったことです。その日私は、コアラとカンガルーとウォンバットが気に入りました。日本の動物園ではガラス越しにコアラがいるけれど、オーストラリアでは柵の向こうにコアラがいました。でも触ることが出来ず、残念でした。次にカンガルーを見に行きました。その日は冬とは思えないくらい暑かったです。カンガルーは飛び跳ねているイメージがあったのにだら～んとしていました。飛び跳ねている姿が見たかったです。ウォンバットは、本当は木の中において通常は見られないけど、私たちは運がよく姿を見ることが出来ました。もう一つラッキーなことにウォンバットの赤ちゃんも見ることが出来ました。とても嬉しかったです。

また、オーストラリアへ行く機会があったら、もう一度動物園に行きコアラやカンガルーを見たいです。そして、出来れば触ってみたいです。

私の中でホストファミリーと一緒に動物園へ行ったことが一番思い出に残る体験になりました。



ビバ！ホームステイ

大垣市立東中学校 2年 河村 雪乃

私は今回、初めてホームステイを体験しました。ホームステイではたくさんのことを学びました。ホストファミリーと過ごす中で、日本と同じことや違うことがいろいろありました。

生活では、まず家の中も違います。冬でも暖房はありません。また、大きな鉄板が外にありました。外の庭も日本の家の2倍近くあります。他には、家の中では靴を履いている、私は寒いと感じていたけれど、ホストファミリーは、半そでシャツを着ている、平日でも7時に起きて8時30分ぐらいに学校に行くことです。

食事では、オーストラリアは肉を洗ってから調理をしていたり、日本には無い食べ物を使っていたりしています。朝食では、私は普通のパンを食べていたけど、ホストチルドレンはチョコミルクだけ飲んでいました。

私は、ホストファミリーと生活する中でとても驚くことがたくさんありました。国が違うだけで、いろいろなことがガラッと変わるので面白かったです。

私はホストファミリーにとっても感謝しています。ホストファミリーと一緒に過ごせたことで、いろいろなことを知り、学ぶことができました。

ホストマザーはいつも私にやさしく声をかけて下さいました。また、いろいろな所に連れて行って下さいました。ホストファザーは朝起きると「Did you sleep well?」と言って下さいました。このように声をかけて私を気使ってくださいさりうれしかったです。



ホストチルドレンとは、いろいろなことをして遊ぶことが出来ました。私はあまり上手に英語を話すことが出来ませんでしたが、励ましてくれたり、助けてもらったりしたおかげで楽しい時間を過ごせました。その心配りがあったからこそ、自分からも積極的に安心して英語を話せるようになりました。本当に充実した5日間でした。

私はこのホームステイを通して、オーストラリアの文化や生活など様々なことを経験することができました。これからも私は積極的に人とコミュニケーションをとることをしたいです。また、日本だけではなく、世界にも目を向けて、広い視野をもっていろいろなことを考えていけるようにしたいです。

ありがとう、ホストファミリー

東海中学校 2年 澤田 大雅

僕のホストファミリーはグロップマン家だった。この家族は、両親とベンジャミン、ジョシュ、ザック、ダニエルの4人兄弟だ。僕は兄弟がいないため、4人も子どもがいる家庭には慣れなかった。でもいつもにぎやかでとても楽しかった。

研修2日目の歓迎レセプションにはお母さんのニコルとベンジャミンとザックが来てくれた。家へ帰る途中にダニエルを迎えに幼稚園に寄った。幼稚園は日本と大きな違いは無かったが、先生が数人しかいなかったのは覚えている。その日の夜、日本から持ってきたお土産を渡すと、とても喜んでもらった。ベンジャミンやザックは竹とんぼが一番気に入ってくれた。

研修3日目はベントレー中学に行き、一日中ベンジャミンと一緒にいた。1時間目は全校集会でリコーダーと合唱の発表をした。2時間目は日本語の授業だった。日本で受ける英語の授業と、言語を全く逆にした感じだった。日本語を勉強する授業というのが新鮮だった。3、4時間目は数学の授業。プリントの問題を解く形式で進んでいくのだが、日本と違い、授業中に電卓を使ってもよいというのに驚いた。昼食はピザやミートパイを食べ、5、6時間目は美術の授業だった。身近な物にのりで新聞紙を貼り、動物をつくるという授業で、服が汚れないように専用のジャンパーのようなものを着てやっていた。日本の美術室にも似たようなものがあればいいなと思った。その日の夜はコンビーフを食べた。本場の牛肉はやはり美味しかった。



ホストファミリーと過ごした土曜日と日曜日はいろいろな体験をした。ベンジャミンのバスケットボールの試合を見に行ったり、オウムがいる山の公園へ行ったりした。他にも海へ行ったり温泉に入ったりしたが一番思い出に残っているのは、フットボールの試合を生で見た事だ。フットボールとはラグビーのようなボールを4本のポールの間に入れるゲームで、コートが円いのだ。そんなフットボールの試合を土曜日の夜に見に行ったら。フットボールというものをその日まで知らなかったから最初の方はルールがよく分からなかった。しかし、試合を見ていけばだんだん分かってきて終盤にさしかかる時には他のサポーターと一緒に熱狂していた。結果は、僕達が応援していた「HAWKS」が見事勝利を収めた。試合終了のブザーが鳴った直後に HAWKS のチームソングが流れ、サポーター全員で熱唱した。僕はその時大きな一体感を感じて、言葉は違ってもスポーツで一つになれるという事を身をもって感じた。そして日曜日の夜、僕がフットボールにのめり込んでいた事を見てか、ホストファミリーが僕にフットボールで使うボールをくれた。その時は飛び上がりたいくらい嬉しかった。

翌日の早朝、ホストファミリーと別れる時は、ハグをして別れた。寂しい気持ちはあったが、絶対にまた戻ってくるという強い意志を持っていたから、その気持ちは小さかった。でも日本に帰ってきてからお土産を見ると、やっぱりグロップマン家が恋しい気持ちにはなった。だから、次行く時まで、もっと英語を勉強して会話がスムーズにできるようにしようと決めた。

僕はこの研修で「オーストラリアの文化を知る」という目標を決めていたが、その目標は達成できたと思う。ホストファミリーとの生活や観光の中で「ここが日本と違う」という点をたくさん見つけることができた。それは文化に限らず、食べ物の事や街中の様子もそうだ。僕は、この貴重な体験で得た事を日本で発信していく事がとても重要だと思っている。そうすればグレンアイラ市と大垣市の親交がより深まり、強いものになっていくと思う。僕は、このような体験をさせていただいた国際交流協会の方々、河合校長先生や野村先生、団員、そして親に感謝したい。

オーストラリア研修を終えて

大垣市立南中学校 2年 中尾 優里

私はこのオーストラリアでの研修を通して主に三つのことを学ぶことができました。



一つ目は、文化の違いです。食事では、毎日多くの肉料理が出されたことに驚きました。羊やカンガルーの肉など珍しいものもあったけれど、おいしかったです。家については、平屋が多くどの家も庭が広くて、トランポリンや温泉がありました。と

てもうらやましかったです。そして、一番印象に残っているのが、学校です。バス通学が出来て、昼休みには外で遊び、家から持ってきたおやつを食べていました。私も、ホストマザーにイチゴやチョコレートブラウニーを持たせてもらいました。日本では、あり得ない光景で驚きました。

このように、日本とは異なる文化について、自分の目で確かめ体験することができて本当によかったです。

二つ目は、コミュニケーションについてです。この研修で、約五日間のホームステイがありました。ホストファミリーと初めて対面した日には、いきなりすべての会話が英語になって緊張と焦りでわからなくなり、何と答えればよいのかわからず黙ってしまう場面がよくありました。しかし、そんな私にホストファミリーの人たちは、ゆっくりと話してくれたり、日本語を頑張って使って話してくれたりしました。そのおかげでだんだん英語に慣れ、自分の思いが上手に伝えられる自信がなくても、勇気をもって自分からジェスチャーを使いながら話してみよう



と思えるようになりました。その結果、このホームステイの時間を充実したものにすることができました。自分の思いを理解してもらうためにはまず自分から一生懸命積極的に行動することの大切さを学びました。そしてホストファミリーの人たちのおかげで、自分のコミュニケーション力を高めることができました。



三つ目は、英語についてです。この研修の間、ホストファミリーが簡単な文で話してくれた時は聞き取ることができ、なんとなく答えられました。しかし、ホストファミリーだけで話をしてた時の英語はものすごく速くて、聞いたことのないような単語を多く使って話していました。ホストファミリーは、オーストラリア人で英語がすらすら話せることは日本人が日本語を話せるのと同じで、当たり前だけど、あまり本場の英語にふれる機会がなかった私にはすごくかっこよかったです。今の自分の英語力のなさに気づき、これからも英語を一生懸命勉強していきたいと強く思いました。

私は、このオーストラリア研修で日本との文化の違いを学び、自分のコミュニケーション力を高め英語への関心を深めることができました。今回、貴重な体験をすることができました。今後私は、この研修で学んだことをこれからの生活にいかしていきます。

最高の家族との5日間!!

大垣市立赤坂中学校 2年 西脇 菜生

市役所でのレセプションで初めてホストファミリーと対面したとき、とても不安でした。英語にあまり自信がなくて会話ができる自信が無かったからです。

でもファミリーは優しい英語でゆっくり話してくれたのでなんとなく会話ができるようになりました。そうなるともうホームステイが楽しくて、楽しくて仕方ありません!!

平日は一緒にスーパーマーケットに行ったり、ショッピングモールに行ったりして普段の生活を体感することができました。

土曜日は家族で朝から出かけました。お昼ご飯は海が近い公園でBBQをしました。そして、そこから近い牧場でカンガルーに餌



をあげたり、ウォンバット、エミューを見ました。夜にペンギンパレードをみました。初めて間近に見る動物ばかりだったのでとても楽しかったです。



日曜日は朝からパイパーが副審を務めるフットボールの試合をみました。キッズの試合でもすごく盛り上がっていて圧倒されました。日本にはあまりなじみのないスポーツだけどとても面白いスポーツでした。夕方にみんなで近くのブライトン・ビーチに遊びに行きました。海がない岐阜県民にとってはすごくテンションが上がる場所でした。カラフルな小屋が建っていてとても可愛いビーチでした。



ファミリーと過ごす最後の夜ということもあり、楽しくクレイジーに過ごしました。

またかわいいペット、ジェシーとウィスキスともたくさんふれあい、癒されました。



「帰りたくない!」とずっと思ってしまう五日間でした。英語があまりわからない私に対しても会話をしてくれて、安心することができました。

また、「英語をさらに勉強して会話ができるようになる」という自分の新しい目標を見つけることもできました。目標が達成できるように頑張っていきたいと思います。

Wonderful

大垣市立江並中学校 3年 松本 伽音

2日目の夕方、グレンアイラ市役所に、ホストファザーのマイケルとホストマザーのジェーンが私を迎えに来てくださいました。同い年の双子のジェシーとレキシシーを学校に迎えに行くために、他の団員より早く市役所を出ました。家に着くと、レキシシーが家を案内してくれました。緊張していた私に笑顔で積極的に話しかけてくれましたが、なかなか自分から話すことができませんでした。その夜は、10人程の親戚が集まってパーティーをしました。夕食を食べたり、ゲームをして楽しみました。その後、ジェシーとレキシシーのダンスのレッスンを見に行きました。とても上手くて、憧れました。



次の日は、バスでベントレー中学・高等学校に行き、メディアや日本語、数学の授業を一緒に受けました。休み時間には、ホストマザーが持たせてくれたパン、キャラメルチョコ、ポップコーン、みかん、りんごを食べました。家に帰って、レキシシーとゲームをした後、一緒にジャグジーに入りました。好きなマンガや、歌手、動物などについて話しました。その中でも、夜に時々ミーアキャットが通ると聞いて驚きました。夕食はお寿司を食べました。

4日目はホームステイにだんだん慣れ、ジェシーと質問をし合いながら、ディズニーキャラクターを当てるというゲームでコミュニケーションをとりました。また、持って行った写真を見せて学校や家族の紹介をしました。

5日目はホストマザーとジェシーと友達でルナパークという遊園地に行きました。いろいろな乗り物に乗って楽しみました。家に帰ると、大学生の姉のダーシーが遊びに来ていました。また、夜には友達の夫婦も遊びに来ていてにぎやかでした。

6日目は、近くのショッピングセンターに行って買い物をしました。昼食のときに、きな粉餅を作り、日本の伝統食を伝えることができました。夕方、フットボールの試合を見に行きました。とても盛り上がり、楽しかったです。

7日目の朝、感謝の気持ちを伝え、ホストファミリーとお別れしました。またメールして、2年後レキシシーが日本を訪れるときに会うことも約束しました。本当に貴重な経験になりました。



研修スケジュール

<事前研修>	日時、内容	場所
第 1 回	6月28日(土) 13:30~15:30 <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・事務局からの説明 ・旅行社からの渡航手続等説明 ・次回の研修に向けて 	男女共同参画活動室 (学習館4階)
第 2 回	7月5日(土) 13:00~17:00 <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解講座(ドイツ派遣と合同) ・オーストラリア文化講座 ・目標、パフォーマンス決めなど 	男女共同参画活動室 (学習館4階)
第 3 回	7月19日(土) 9:30~16:00 <ul style="list-style-type: none"> ・語学講座 ・調べ学習発表 ・パフォーマンスの練習 	男女共同参画活動室 (学習館4階)
第 4 回	8月2日(土) 9:30~16:00 <ul style="list-style-type: none"> ・語学講座 ・先輩団員との交流会 ・パフォーマンスの練習 ・出発式の練習 	男女共同参画活動室 (学習館4階)

出 発 式	8月11日(月) 16:30~17:00	特別会議室 (学習館2階)
-------	----------------------	------------------

派 遣 期 間	8月19日(火) ~ 8月26日(火)
---------	---------------------

<事後研修>	日時、内容	場所
第 1 回	9月6日(土) 13:30~16:00 <ul style="list-style-type: none"> ・報告書作成 	男女共同参画活動室 (学習館4階)
第 2 回	9月21日(日) 9:30~15:00 <ul style="list-style-type: none"> ・報告資料作成、報告会の準備 	学習室3-5 (学習館3階)

<研修派遣の報告会>	場所
10月13日(月・祝) 13:30~15:30	男女共同参画活動室 (学習館4階)

【第5回大垣市小・中学生オーストラリア・グレンアイラ市研修派遣報告書】

編集 第5回大垣市小・中学生オーストラリア・グレンアイラ市研修派遣団
公益法人 大垣国際交流協会

発行 平成26年10月